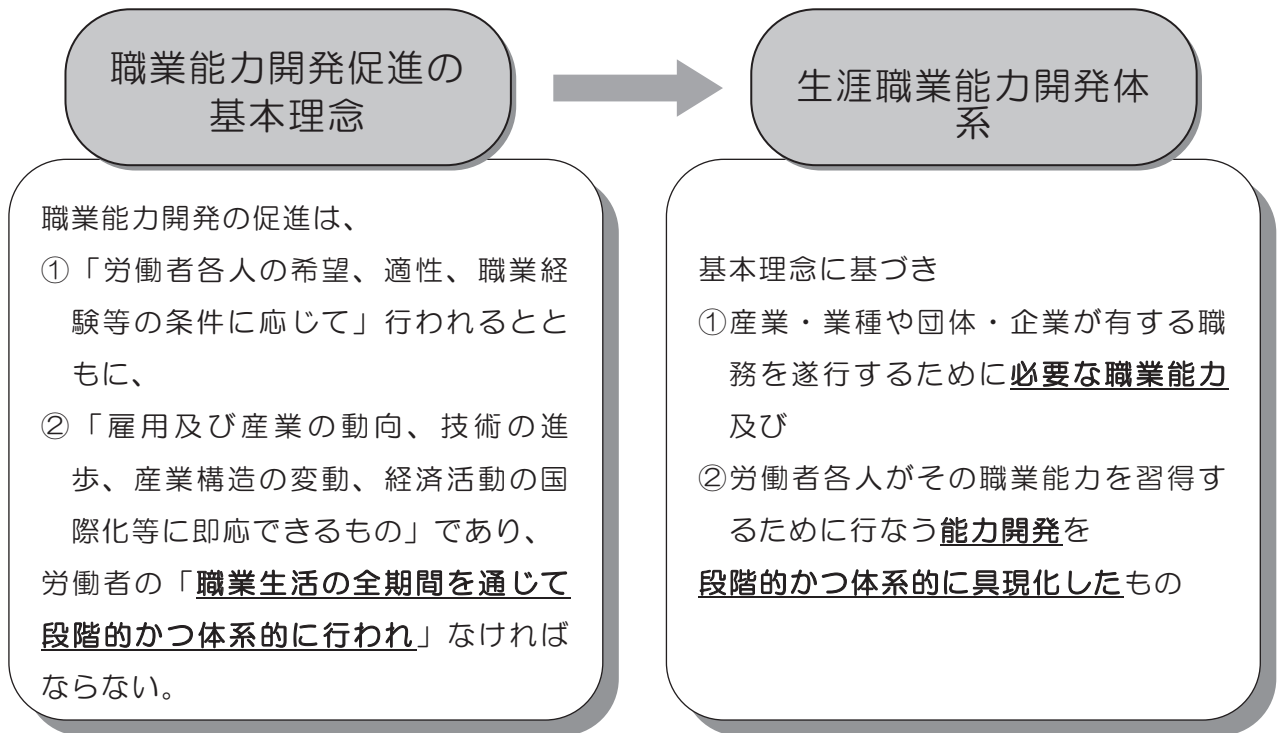


## 第4章

### 生涯職業能力開発体系について

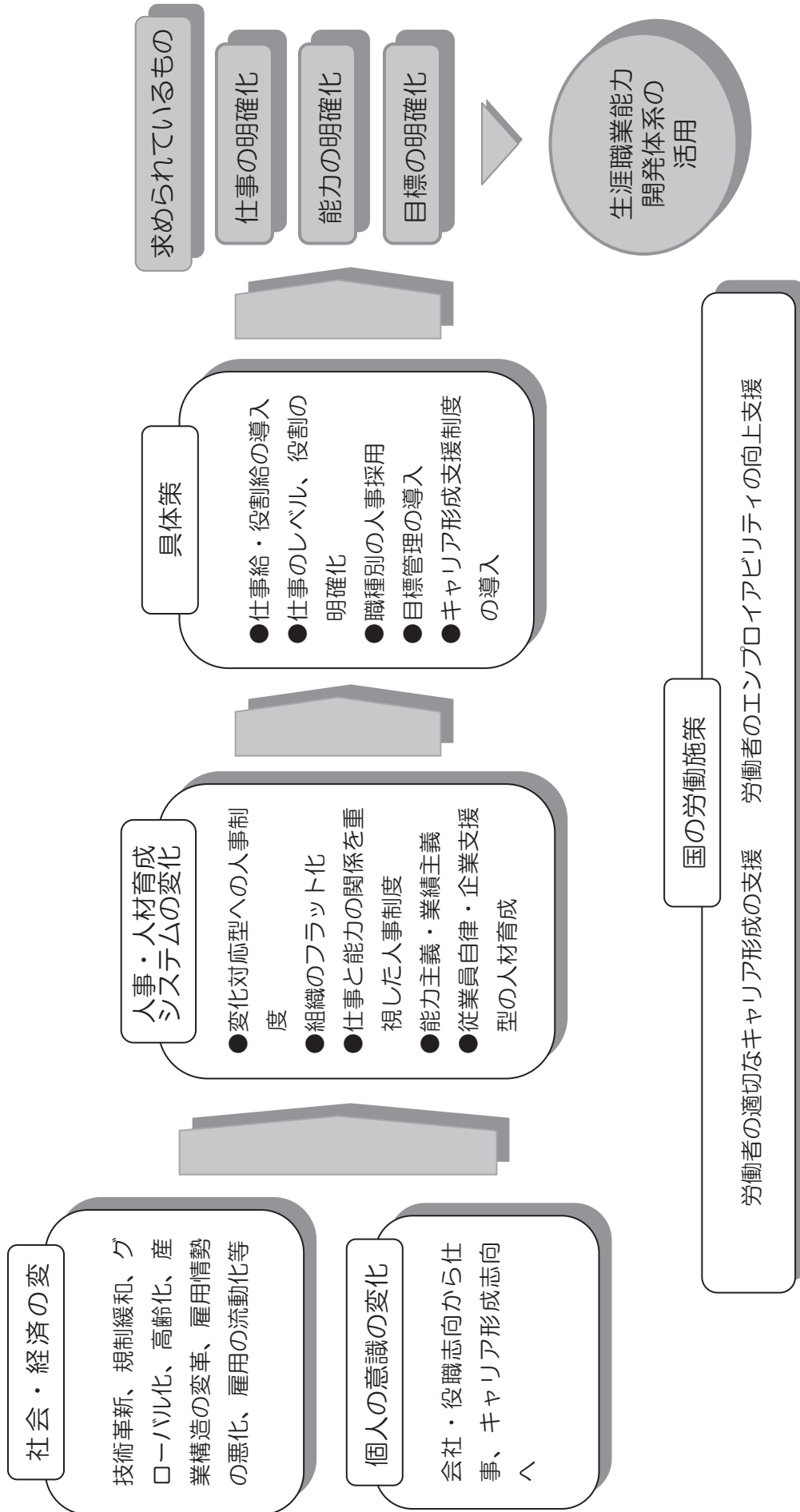
#### 4-1 生涯職業能力開発体系とは



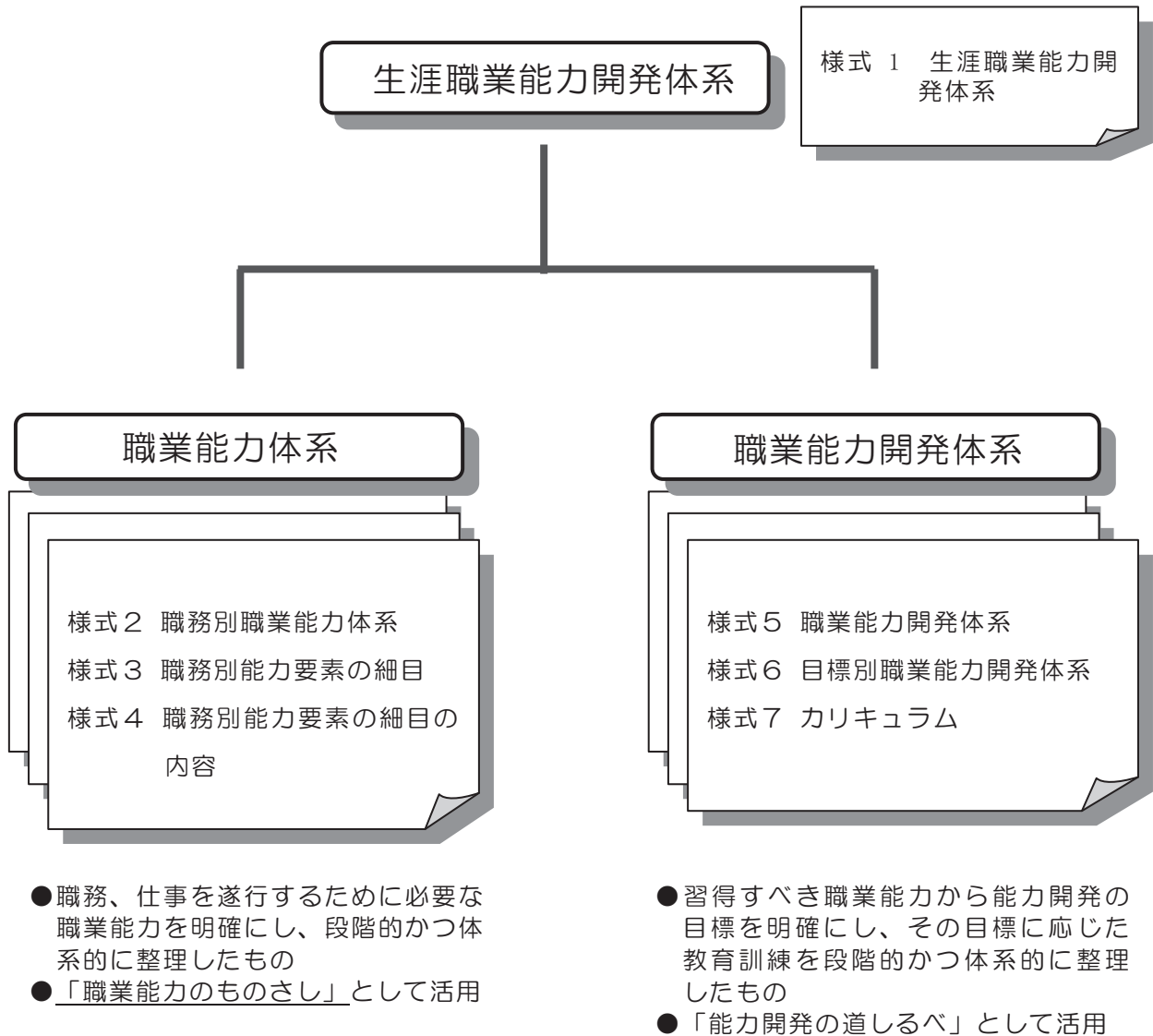
##### (1) 生涯職業能力開発体系の特徴

- a. 団体・企業が有する、または必要とする職業能力（スキル）が明確になる。
- b. 従業員各人の現在のスキルが明確になり、従業員のスキルの確認、将来目標の設定が容易になる。
- c. 能力開発の成果がスキル向上により明らかになる。
- d. 段階的・体系的な人材育成ができる。
- e. 計画的・効果的な人材育成ができる。
- f. 人員配置や目標に合わせた効果的な人材育成ができる。

4-2 人材をめぐる環境変化と求められているもの



### 4-3 生涯職業能力開発体系の構成

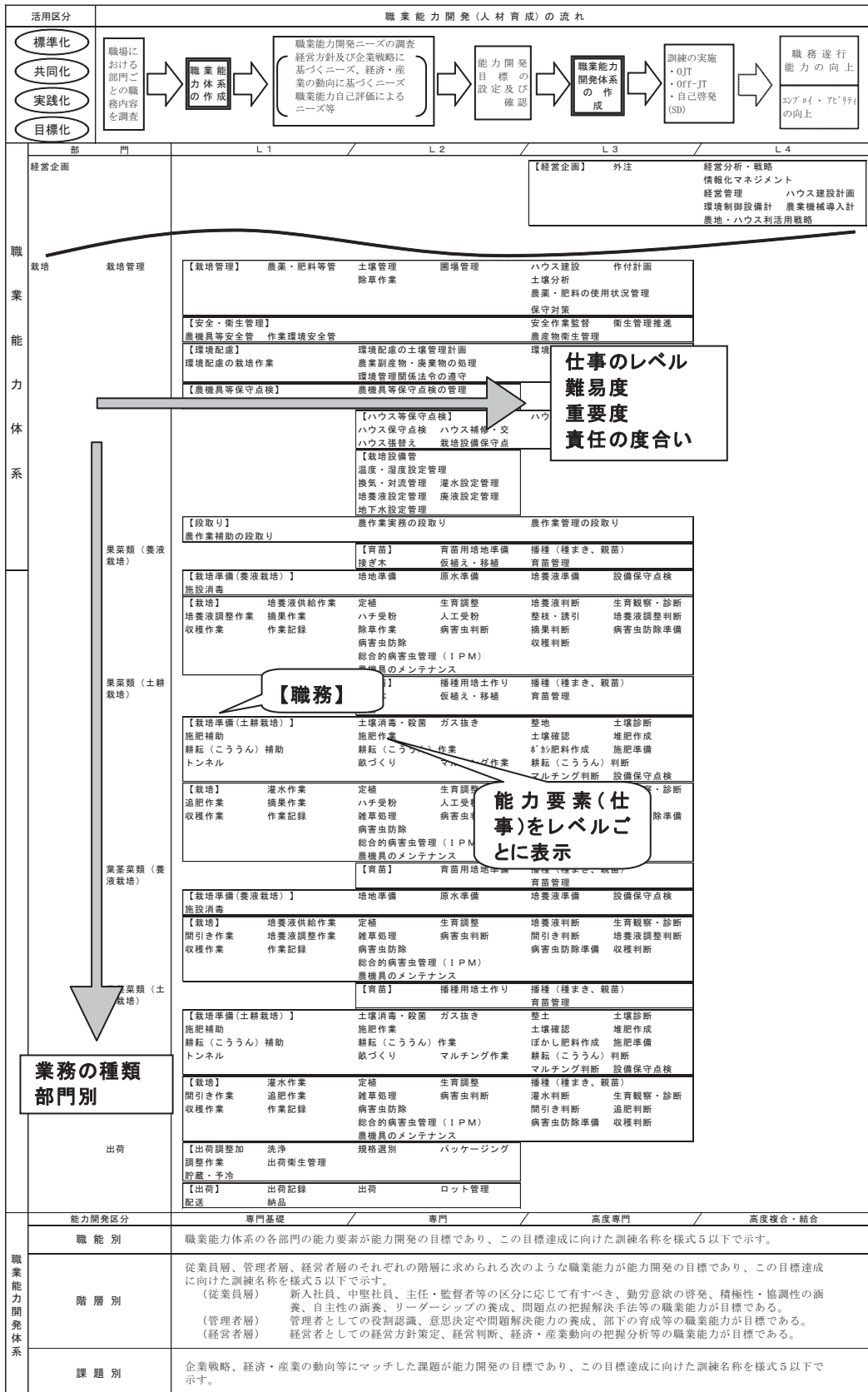


(1) 様式1 (生涯職業能力開発体系)

職業能力体系と職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したもの。

農業(野菜作農業(施設野菜)) 生涯職業能力開発体系

様式1



(2) 様式2 (職務別職業能力体系)

能力要素(仕事を遂行する能力)を段階的・体系的に示したものの。職務ごとの仕事が明確にできる。

農業(野菜作農業(施設野菜)) 職業別能力開発体系 様式2

部門	職務	レベル	L 1	L 2	L 3	L 4	
栽培 果菜類(養液栽培)	育苗			育苗用培地準備	播種(種まき、親苗)		
				接ぎ木	育苗管理		
				返植え・移植			
	栽培準備(養液栽培)			施設消毒	培地準備	培養液準備	
					原水準備	設備保守点検	
	栽培			培養液供給作業	定植	培養液判断	
				培養液調整作業	生育調整	生育観察・診断	
				摘果作業	ハチ受粉	整枝・誘引	
				収穫作業	人工受粉	培養液調整判断	
				作業記録	除草作業	摘果判断	
					病害虫判断	病害虫防除準備	
					病害虫防除	収穫判断	
					総合的病害虫管理(IPM)		
					農機具のメンテナンス		

能力要素  
(仕事)

(3) 様式3 (職務別能力要素の細目)

能力要素とそれを構成する能力要素の細目(作業を遂行する能力)を示したものの。仕事を構成する作業が明確にできる。

農業(野菜作農業(施設野菜)) 職業別能力開発体系の細目 様式3

部門	職務	レベル	L 1	L 2	L 3	L 4
栽培 果菜類(養液栽培)	栽培		培養液供給作業	定植	培養液判断	
			培養液供給作業	定植準備	培養液判断	
			培養液調整作業	定植作業	生育観察・診断	
			培養液調整作業	生育調整	生育観察	
			摘果作業	補調剤による生育調整	生育診断	
			摘果作業	葉面散布材(肥料等)による生育調整	整枝・誘引	
			収穫作業	ハチ受粉	整枝・誘引判断	
			収穫作業	ハウス開口部のネット張り	整枝・誘引作業	
			作業記録	飼育・保管	培養液調整判断	
			作業記録	使用済みの殺処分	培養液調整判断	
				人工受粉	摘果判断	
				人工受粉	摘果判断	
				除草作業	病害虫防除準備	
				除草作業	農業散布前の確認	
				防草シート	天敵昆虫準備	
				病害虫判断	受粉用昆虫の退避	
				病害虫判断	農業準備	
				病害虫防除	農業調査	
				防除作業(農業散布)	収穫判断	
				天敵昆虫放飼	収穫判断	
				農業散布後の確認		
				総合的病害虫管理(IPM)		
				防虫ネット管理		
				フェロモン剤管理		
				天敵昆虫管理		
	農機具のメンテナンス					
	農機具のメンテナンス					

能力要素  
(仕事)

能力要素の  
細目(作業)

**(4) 様式4 (職務別能力要素の細目の内容)**

能力要素の細目を構成する知識及び技能・技術の内容を示したもの。作業を行うために必要な能力が知識及び技能・技術により確認できる。

**農業(野菜作農業(施設野菜)) 職業別能力開発体系の細目の内容 様式4**

職 務	栽培	レベル表示	L 2
能力要素	病害虫防除		
能力要素の細目	能力要素の細目の内容		
1. 防除作業 (農薬散布)	知識	1. ノズルの種類と特徴を知っている 2. 農薬が皮膚についたときの応急処置を知っている 3. 農薬を大量に浴びた場合の応急処置を知っている 4. 散布に適切な時間帯を知っている	
	技能 技術	1. 防除作業機器の取り扱いができる 2. 適切な作業着着用の徹底ができる 3. 予備の着替えの準備ができる 4. 保護クリーム、ゴム手袋、ゴム長靴着用の徹底ができる 5. 高いところへの散布ではメガネ、マスクの着用の徹底ができる 6. 天気や風の状況の確認ができる 7. 風向きに考慮してノズルの向きの決定ができる 8. 風向きに考慮して身体を常に風上におくことができる 9. 風向きに考慮して散布順序を組むことができる 10. ウィルス病の株があれば、健全な株に広がらないように注意することができる	
2. 天敵昆虫放飼	知識	1. 適切な天敵昆虫放飼の時期を知っている	
	技能	1. 害虫密度に応じた天敵昆虫放飼を行うことができる	
3. 農薬散布後の確認	技能	1. 記載すべき項目を農薬使用記録簿への記録ができる	
	技術	2. 使用した容器・器具の十分な洗浄ができる 3. 洗浄場所が洗浄液で地下水や河川が汚染されない場所か確認ができる 4. 作業着を他の衣類と分けて洗濯ができる	

(5) 様式5 (職業能力開発体系)

職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したもの。職能別、階層別、課題別に訓練名称を段階的・体系的に示している。(本調査研究では作成に至っていない。)

職業能力開発体系							能力開発のレベル 4段階で表示
○○製造業							様式5
区分	部門	職務	専門領域	専門	高度専門	高度複合・統合	
職能別	経営	経営企画		企画書作成	企画・発想力開発	経営戦略	
		総務	総務業務	OA操作・文書作成 一般総務業務	文書・資料作成管理実務	企画立案	
		人事・労務管理	人事・労務の基礎	人事・給与・社会 労務企画管理 能力開発実務	法務・渉外実務 法務・渉外管理		
	経理	財務・税務会計	経理の基礎	財務会計実務	財務会計		
			原価計算	税務会計実務			
			管理会計	原価計算実務 管理会計実務			
	営業	営業企画管理		マーケティング実務		営業・マーケティング戦略	
		営業活動	営業販売基礎技術	営業技術	販売管理・マーケティング		
	生産管理	工程管理	生産管理基礎	生産計画 工程管理			
		設備管理				生産システム設計	
品質管理	品質管理						
製造 組立	部品実装組立	機械部品組立基礎				新素材加工の動向 最先端切削加工技術	
		電装部品組立基礎					
	製造	旋盤加工	機械図面の見方 旋盤(1) 旋盤(2)	旋盤(3) 旋盤応用(1) 旋盤応用(2)	旋盤エキスパート		
技術	電装設計	フライス盤加工	フライス盤基礎 フライス盤応用	難削材切削加工技術			

区分	階層 (訓練対象者)	専門領域	専門	高度	高度複合・統合	
階層別	新入社員	新規採用	会社概要 マナー基本	仕事の進め方 ビジネスマナー		
		中途採用	会社概要	仕事の進め方		
	中堅社員	総合職		OJTの基本と実践 問題解決手法 コミュニケーション	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導	
		技術職		OJTの基本と実践	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導	
	管理・監督者			人の扱い方		
経営幹部				標準管理実践 戦略発想		

区分	課題	専門領域	専門	高度専門	高度複合・統合	
課題例	IT化推進	情報リテラシー	OA研修 パソコン利用技術	インターネット利用技術		
		電子調達対応		電子商取引技術		
	営業力強化	顧客折衝力強化	ディベート術	プレゼンテーション技術	提案型営業 コンサルティング営業	
		顧客情報管理強化			顧客管理技術 (CRM)	ナレッジマネジメント
国際化	国際対応力	英会話初級	ビジネス英語			



(6) 様式6 (目標別職業能力開発体系)

職能別、階層別、課題別に、能力開発目標ごとの訓練名称を示したもの。能力開発の目標とそれに対応した訓練名称が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない。)

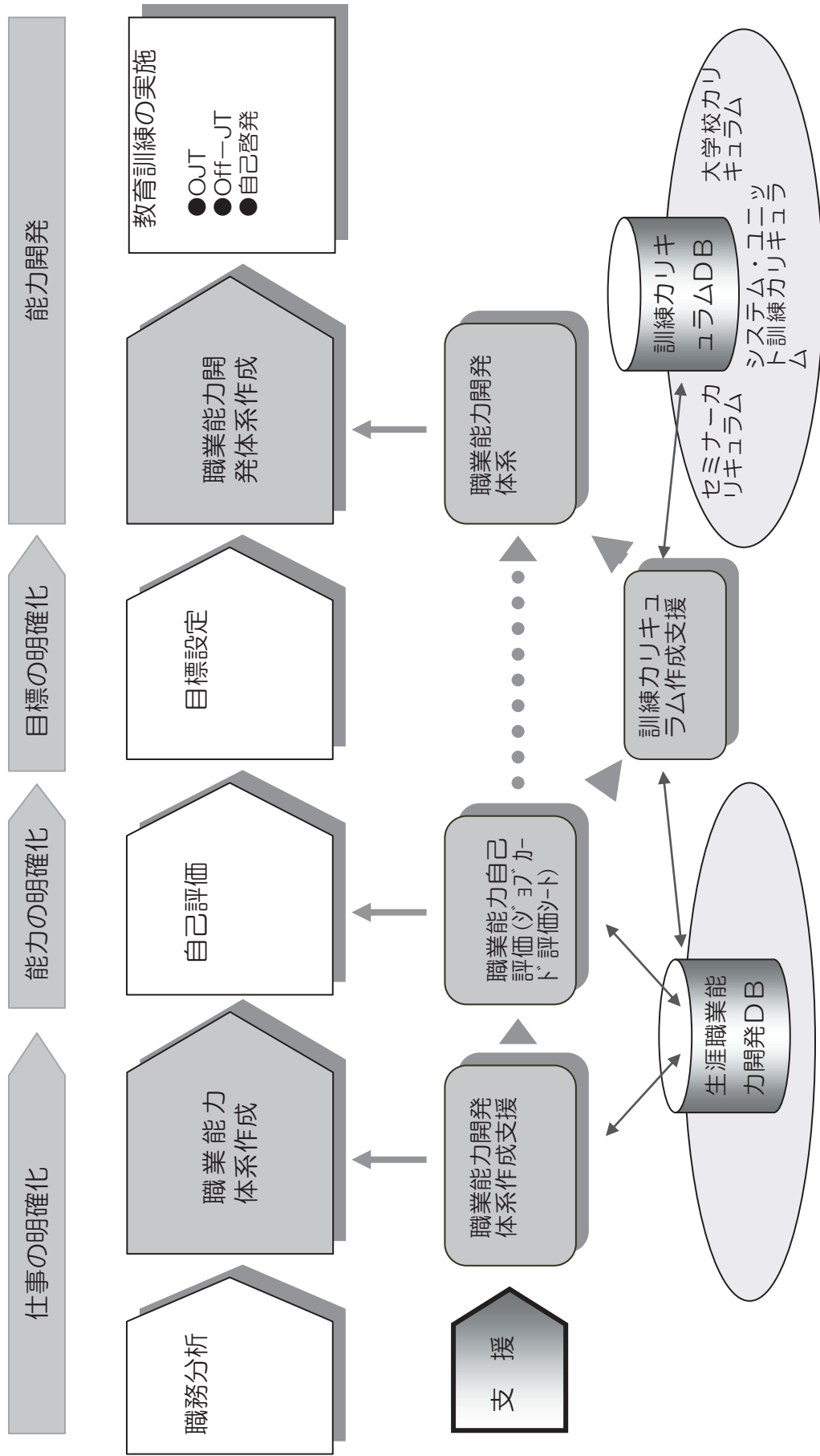
○○製造業		目標別職業能力開発体系			様式6 (職能別)
部門 職務	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合
製造 旋盤加工	* 外形加工  旋盤による高精度加工を習得する。	図面の見方 旋盤(1)	旋盤(2) 旋盤(3) 旋盤(4) 旋盤(4)	旋盤応用(1)  訓練名称 精密切削加工 旋盤のエキスパート	先端切削技 新素材加工
	能力要素により設定				
	能力要素に関する具体的な目標を設定				
階層(訓練対象者)	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合
中堅社員	中堅の役割としての部下の育成及びリーダーシップ等をはじめとする統率力を身につける。  技術食に必要な...に対する部下びリーダーシップとする指導つける。		OJTの基本と実践 コミュニケーション 問題解決手法 OJTの基本と実践	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導 マネジメント基礎 リーダーシップ	訓練名称
	階層に求められる具体的な職業能力により設定				
課題	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合
IT化推進	全社的な情報化を推進するために必要な情報リテラシーの向上。  インターネット上における	OA研修 パソコン利用技術	インターネット利用技術  電子商取引技術		訓練名称
営業力強化	顧客情報管理強化	ディベート術	プレゼンテーション技術	提案型営業 コンサルティング営業	ナレッジマネジメント
国際化	国際対応力の強化	英会話初級	ビジネス英語	顧客管理技術(CRM)	
	具体的な課題により設定				

(7) 様式7 (カリキュラム)

訓練名称のカリキュラムを示したもの。訓練を実施するための具体的な内容が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない。)

区分		作成者又は実施機関名	ポリテクセンター〇〇 (tel : xxx-xxx-xxxx)	管理番号	S401-107-4
		訓練名称	営業・マーケティング戦略		
		訓練対象者	営業部門管理職、営業リーダー		
		訓練目標	マーケティングの理論と営業メンバーの行動管理の方法を習得し、戦略的な営業活動を立案できる人材を育成する。特に顧客リーダーの変化や顧客の経営課題に対応した提案技法を習得する。		
細目	内 容			訓練時間(h)	
1. 企業経営と経営戦略	(1) 経営ビジョンの考え方 (2) 環境分析 (3) 経営戦略			3.0	
2. マーケティングの枠組み	(1) マーケティングの意義と役割 (2) マーケティング戦略の考え方 (3) マーケティング情報の収集と探索			1.5	
3. マーケティング戦略の展開の考え方	(1) 市場戦略 (2) 商品(サービス)戦略 (3) 価格戦略 (4) 販売促進戦略			2.5	
4. 顧客への提案書づくりの考え方と進め方	(1) 顧客の問題点の発見方法 (2) 課題の解決方法 (3) 提案作業と提案作成			5.0	
5. 営業組織とシステム開発組織のあり方	(1) 市場対応型営業組織の考え方 (2) システム開発組織のあり方			3.0	
6. 営業メンバー行動管理	(1) S F Aの考え方と進め方 (2) 効率的な営業活動指針 (3) 営業活動管理の考え方 (4) 営業計画の策定			3.0	
				訓練時間合計	18.0
使用機器・教材等		テキスト、資料、OHP、事例シート、チェックシート			

4-4 生涯職業能力開発体系を活用した人材育成の流れ

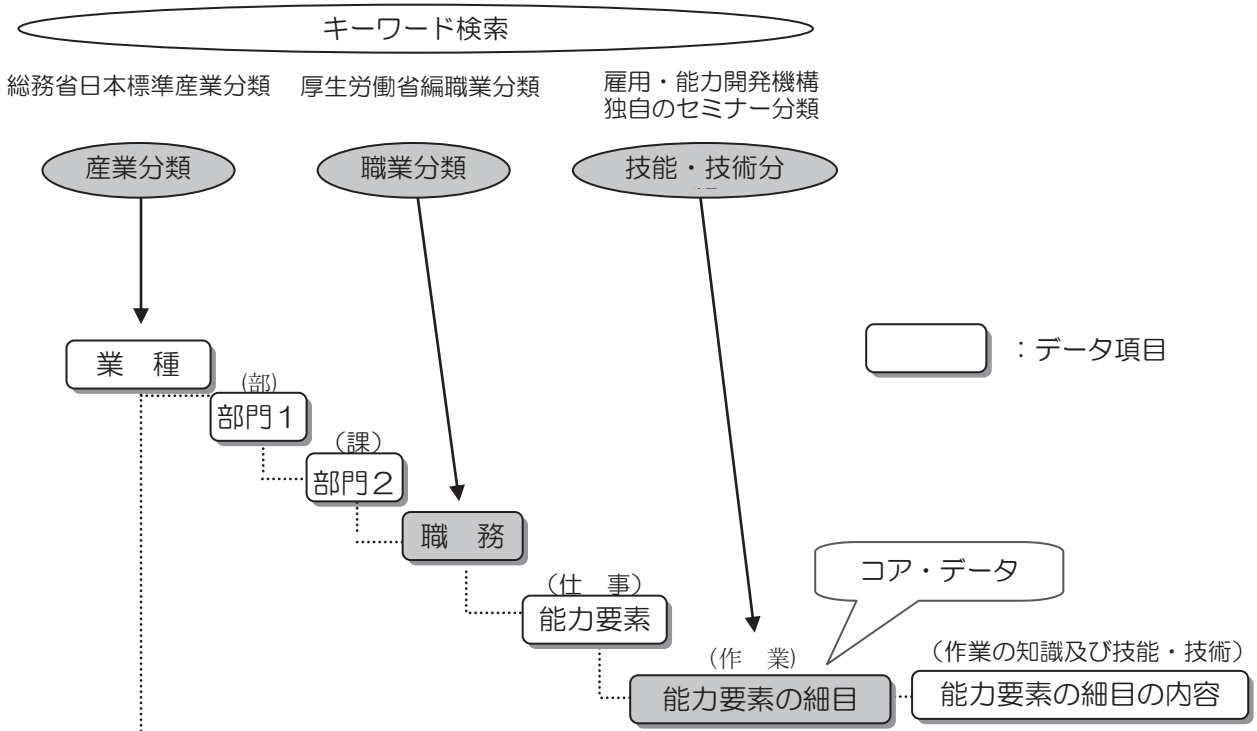


### 4-5 生涯職業能力開発体系のデータ構造

生涯職業能力開発体系の拡充と普及を促進するため、データの構造化に当たっては、名称に一定の基準が必要となるため、「業種名」では、原則日本標準産業分類の小分類もしくは細分類を採用することとしている。

また、「職務名」については、厚生労働省編職業分類を基本としているが、中央団体及び専門委員との協議の上選定することとしている。

#### 生涯職業能力開発体系(職業能力体系)のデータ構造



(例)

電気機械器具製造業	製造	加工	旋盤加工	外径加工	加工準備	旋盤各部の名称を知っている 機械図面の読方を知っている 各部の注油と点検ができる 加工工程を組むことができる
	総務	庶務	庶務管理	庶務・渉外実務(補助)	文書作成	社内文書と社外文書の種類、用途を知っている 書式通りに文書を作成できる 簡単な帳票類を作成ができる